



協議会だより

令和2年 9 月 24 日

足立区立第十二中学校



令和2年度開かれた学校づくり協議会は、各自治会長、同窓会、校長、副校長、PTA 顧問、PTA など、28名の委員で活動を行います。9月10日に第2回の開かれた学校づくり協議会を開催し、今後の活動方針協議・情報交換を行いました。

1 開会の言葉 浦山 太市 副会長

お忙しい中、またコロナ禍の中、お集まりいただきありがとうございます。皆さまも様々な制約の中で過ごされていると思いますが、生徒たちのために何ができるのかを、皆さまの意見を聞き、学校と協力しながら考えてまいりたいと思います。本日はよろしくお願いいたします。

2 足立区教育委員会 学校支援課 学校地域連携担当 河南 昭広 様

生徒たちにとっては短い夏休みが終了しましたが、皆さまの見守りのおかげで大きな事故もなく、学校再開できました。本日はよろしくお願いいたします。なお、令和2年度の「開かれた学校づくり協議会フォーラム」は中止の運びとなったことを併せてご報告いたします。

3 会長挨拶 野々村 誠 会長

皆さま、こんばんは。お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。新型コロナウイルス騒動がはじまって約半年が経過しました。6月から学校が再開しましたが、生徒の登校風景を見ていると少しずつ回復していると感じます。今後も変わらず生徒たちをサポートしていきたいと考えます。よろしくお願いいたします。

4 校長挨拶 上岡 祥邦 校長

本日は、第2回の開かれた学校づくり協議会ということでお集まりいただきありがとうございます。本校では幸いにして感染の報告もなく、生徒たちは元気に登校しております。皆さまのご協力のもと、今後も学校を運営してまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

5 議題

(1) 学校状況報告 上岡 祥邦 校長

学習の遅れですが、3年生に関しては1年で実施すべき学習指導要領の100%の授業時間を確保できる予定です。

1、2年生は一部が満たせず80%程度となりますが、中学卒業までに追いつく計画としています。

また生活アンケートの結果、全学年で91%の生徒が「学校は楽しい」と回答してくれています。一方で9%の生徒が「あまり楽しくない」「まったく楽しくない」と回答しており、この中には教室に入りづらい、あるいは不登校の一部の生徒が含まれており、学校に何らかのストレスを抱えていると考えられます。今年度より特別支援教室「SAKURA ルーム」不登校対応教室「スマイルルーム」を開設しました。今後、この9%の生徒たちのケアに努めていきたいと思います。

学校の行事予定は年間行事予定表のとおりですが、変更となる可能性もあります。運動会の代替え行事として9月25日に「運動発表会」を行います。この名称を生徒たちが「12 ア オリンピック (ジュニア オリンピック)」と銘うちました。11月の学芸展示会も展示会として行いますが、運動発表会も含めて保護者の参観はできません。

(2)情報交換、意見交換

- ◆近隣中学校が中間試験を行ったのに対し、十二中が行わないことで評定に差が出るのではないかと
⇒他校が中間試験を実施した認識はあるが、小テストの延長と考えており、十二中でも同等の試験は行っている。
また評価材料も適切に設定しており問題ないとする。(上岡校長)
- ◆都内で夏休み期間が様々であるが、これは区単位で決定しているのか。
⇒区単位で決定しており、授業時間の確保状況に依存している。十二中(足立区)では水曜日の授業変更や土曜授業追加、都民の日返上などで工夫しており、その他、夏休み/冬休みの調整で対応可能と考えている。(上岡校長)
- ◆各校の校長先生の判断により決定するものについて
⇒基本的に区の決定に従う運用であるが、校長判断に委ねられるものもあれば校長会で協議して決定するものもある。本来は教育委員会で判断すべきものもあるが、内容による。また保護者の意思確認も必要である。(上岡校長)
- ◆中学生の主張東京都大会がありますので、ぜひ参加してもらいたい。
- ◆開かれた学校づくり協議会講演会(職業体験を聞く)について(野々村会長)
第1回協議会の席で生徒へ職業の選択や体験談をお話する講演会を開催してはどうかという提案があり、協議会委員、または卒業生などの先輩より職業を選択する場合の体験や資格の取得方法についてお話していただくことを提案。(教育系/医療・薬学系/技術系/環境系/理容・美容系/文系/調理・栄養系/観光系、その他公務員など)

(3)避難所管理・運営組織について 糠信 正則 副校長

- ◆十二中の避難所運営組織について確認したい。(糠信副校長)
⇒現在は中川東小学校が主となっており、二次避難場所として十二中が設定されている。
⇒学校単位での組織が必要になったということで、今後、十二中単独で運営しなければならない。
⇒10月1日に運営委員会が予定されており、中川東小を母体として、ここに十二中学校と足立東高校が加わる組織編成とする旨を協議し、意思統一を図ると思われる。
⇒十二中に物資(備蓄品)はあるのか?
⇒組織編成に関係なく学校単位に用意されている。

(4)その他

- ◆環境浄化活動について
今年度の環境浄化活動については、今現在、従来の要領での開催は不可能につき中止の方向で検討しています。
学校をはじめ関係各所と協議のうえ、9月中には最終決定し案内します。実施するとしても十二中単独の開催とし、規模も大幅に縮小します。

6 各部協議

- ◆評価部会 … 資料の確保、行事実施可否判断・決定のスピードについて協議
- ◆土曜授業部会 … サタデースクールの開始(9/12 9:20~開講式 図書室、少人数教室にて)
- ◆家庭教育部会 … 放送を使用した講演会の実施可否、第1回講演会内容検討(美容師・栄養士等)

7 閉会の言葉 荒川 康男 副会長

皆さま、お疲れさまでした。様々な行事が中止となっているなか、高校野球は形式を変えて開催されました。選手たちは一様に「感謝している」と言っていました。与えられたものに対しそのような気持ちを持ってくれたならば有難いと思います。十二中のアンケートでも学校が楽しいという回答が多かったように、先生方をはじめ、我々のバックアップに生徒たちが感謝の気持ちを持ってくれるよう、今後も活動していきたいと思っています。

次回、第3回開かれた学校づくり協議委員会は11月26日(木)の予定です。